

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	0千円	1,352千円	9,685千円	0千円
	総人件費	0千円	15,100千円	15,317千円	
	総事業コスト	0千円	16,452千円	25,002千円	

部等名	課等名	係等名
都市計画部	周辺市街地振興室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	04	01	24	周辺市街地振興に要する経費

事務事業名	01 周辺市街地振興事業				指標名	地域共創プラットフォーム(勉強会等を含む)の開催回数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	持続的かつ自立的な地域づくりを実現していくためには、地域プレイヤーの意識を高め、地域が自らマネジメントする力を付けることが重要であることから、その基盤となるプラットフォーム(勉強会等)の開催回数を設定		
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-			-	-
		-	-	-	-	実績	-	-	-	3回	-							
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-			
	-					-				-								
	-					-				-								
市長公約	-				事業計画	-				-				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	-					<ul style="list-style-type: none"> 周辺市街地の現状把握・課題抽出 市街地カルテの作成 地域共創プラットフォームの構築準備 政策形成準備(予算確保・人的ネットワーク構築等) 地方創生先進事例調査研究 				<ul style="list-style-type: none"> 周辺市街地振興勉強会の開催地の拡大を図りながら、地方創生推進交付金を活用し、地域共創プラットフォームの運営やそれぞれの地域にあった振興施策の検討を進めていく。 					事業費(A)	0千円	1,352千円	9,685千円
根拠法令等	-				活動実績	-				-				国庫支出金	0千円	0千円	4,320千円	0千円
事業分類	A 任意的事業					<ul style="list-style-type: none"> 住民との対話による地域の実態把握 区会総会(4月/計6回)・地区懇談会(7月/計22回)・市長タウンミーティング(通年/計6回) 市街地カルテの作成 社会統計調査データや地域の声・資源等の情報をGISを活用して可視化するカルテ8市街地分を作成 地域共創プラットフォームの構築準備 地元区長や企業、NPO団体等をメンバーとする周辺市街地振興勉強会を立ち上げ、小田市街地において2回、谷田部市街地において1回開催した 新たな周辺市街地振興策の検討 地方創生推進交付金を活用した新規事業(地域拠点活力共創マネジメント事業)の検討及び申請(平成30年3月29日に内閣府より交付金内示済) 先進事例調査研究 生活環境づくり研修会、GIS講習会、地域おこし協力隊導入研修会、地方創生ブロック別研修、小さな拠点学校、地方創生フォーラム等に参加 その他 茨城県補助事業(生活環境づくり支援事業)の活用(11月9日～3月16日/カルテ作成・勉強会準備等) 地域主催イベント等支援(9月:能に親しむ会/小田、11月:谷田部オータムフェア/谷田部) 市HPやSNSによる周辺市街地資源等の魅力発信 				<ul style="list-style-type: none"> 地域拠点活力共創マネジメント事業の推進(地域主体の自立型マネジメント実現に向けた各種支援) 各周辺市街地における地域が求める将来像、地域振興のテーマの検討 周辺市街地振興勉強会等を通じた地域共創プラットフォームの運営 次年度以降のコンペティションの開催準備 市街地カルテの充実、公表 周辺市街地の魅力発信・PR 等 				県支出金	0千円	972千円	0千円	0千円
執行体制	一部委託				成果	-				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	自立的・持続的な周辺市街地の活性化					-				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 周辺市街地の現状把握・課題抽出 周辺市街地振興策の検討 地域の自立に向けた支援・調整 地域と多様な主体との共創に向けた支援・調整 周辺市街地の魅力強化・発信 				課題	<ul style="list-style-type: none"> 様々な機会を捉えて地域の声を丁寧に聞くことにより、市民目線の地域の現状や課題を把握することができた。加えて、それらをカルテとして可視化できる形で整理することができた。 周辺市街地振興勉強会の開催により、地域住民の地域に対する関心が高まってきており、将来的には地域主体の自立的な取組に繋がることが期待できる。 				-				一般財源	0千円	380千円	5,365千円	0千円
	-					<ul style="list-style-type: none"> 多様な地域資源等を活かした地域振興の取組に繋がるよう、域内外の民間企業等のプレイヤーの参画を得ながら、地域と共創事業の検討・協議を深めていく必要がある。 地域内の関係性を深めるとともに、地域と外部を結び付けられるよう、多様な主体との関係性の構築を更に支援していく必要がある。 				-				人件費(B)	0千円	15,100千円	15,317千円	
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	-			事業の進捗状況	-			改善目標の進捗状況	-			
	H30 環境関連性	-				改善目標の進捗状況	-				改善目標の進捗状況	-						
評価	有効性	中:適切な成果が得られている				評価	有効性	-				H31年度当初積算根拠	H31年度当初積算根拠	理由	-			
		効率性	中:適切な費用対効果が得られている					効率性	-									
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施					総合評価	-								